

今日は2月16日。留学を終えてから1か月以上が経つわけですが、ここで約4か月半の中国留学を振り返ってみたいと思います。楽しかったこと、つらかったこと、悔しかったこと、その全部をこれからここに記します。

まず、一緒に留学に行った本学の日本人メンバーに感謝しています。私は中国に行ったばかりのとき、ほとんど何も聞き取れず、食べ物も口に合わず、帰りたいと毎日思っていました。そんな時、本学のメンバーは私を励まし、楽しませ、一緒に頑張ろうと言ってくれました。もしかしたら、そんなことは当たり前だと思う人もいるかもしれませんが、全員が余裕のなかったあの時、私に優しい言葉をかけ、心配してくれているということが私自身の力に繋がったのは確かです。

次に、中国人学生との出会いです。9月に中日交流会で出会った1人の男子学生が、4か月間私の中国語の学習サポートをしてくれました。授業終わりにわからないことがあって連絡をすると、私ができるまで何度も教えてくれました。休日には、おいしいご飯に連れて行ってくれました。私たちは、中間テスト後に1週間ほどの休みがあったのですが、その時には天津旅行に連れて行ってくれました。帰国前にはプレゼントを送ってくれました。彼には感謝してもしきれません。これからもいい関係でいたいと思える友達ができました。

最初は何も聞き取れず、自分の言いたいことを相手に伝えることができませんでした。そこで、毎日授業終わりに7時間ほど勉強し、予習復習は欠かさず、単語をどんどん調べて覚ええました。正直つらかったです。それでもだんだんと授業が聞き取れるようになり、先生が投げかける質問に自分の言葉で答えられるようになったことが本当にうれしかったです。

最後におそらくみなさんが気になるであろう衣食住について記したいと思います。中国の料理は少し脂っぽかったように感じます。それに加えて辛い物が多いので、行ったばかりのときはよくお腹を壊していました。ゆっくりですが食事にはそのうち慣れますし、美味しいものもたくさんあるので帰国するころには太ってしまっていました。寮もきれいで不便なところは何もありませんでした。北京の冬は気温も低く風も冷たいため、最後までなれませんでした。

もっと書きたいことがあるのですが、こらへんでやめておきます。今日本に帰ってきて、日本語が通じるという環境にいるため、中国語を話す機会が減ってしまっています。もう一度気を引き締めて、勉強を続けていきたいと思っています。本当に有意義な留学生活でした。関わったすべての人の感謝しています。